

# 棚田で稲刈り体験

市川町上牛尾の棚田で19日、棚田の保全活動に取り  
組むNPO法人「棚田LOVER's (ラバーズ)」  
(永菅裕一理事長)が稲刈りと稲木干しの体験会を開  
いた。神戸市や加古川市などから親子連れら約20人が  
参加し、黄金色に実った稲を刈り取った。【久野洋

## 市川 親子連れら20人参加

棚田ラバーズは都市部の  
住民らを対象に、稲刈りや  
田植えなどの農業体験イベ  
ントを開催しており、棚田  
が生態系の維持などで果た  
している役割を知ってもら  
うのが狙い。今年も地元農  
家から水田約7㌥を借りて  
6月に田植えをし、永菅理  
事長らが手入れをしてき  
た。

この日、参加者は朝から  
カマで稲を刈り取り、天日  
干しのための稲木を組み立  
て、稲の束を掛けた。神戸  
市垂水区の小学4年生、川  
村優樹乃さん(10)は「田ん  
ぼに入るのは初めてで、稲  
刈りは難しかった。早くお  
米が食べたい」と楽しそう  
に話していた。

棚田ラバーズは25、26日  
にも香美町の棚田で稲刈り  
体験会を開く。JR姫路駅  
発着の1泊2日ツアーで、  
参加費は大人1万3800  
円、小学生以下7800円。  
定員30人で22日まで受け付  
ける。問い合わせ先は永菅  
理事長(090・2359  
・1831)。



カマで稲を刈り取る参加者ら—市川町上牛尾の棚田で